

授業展開例（音楽）

1. 学 年 第2学年
 2. 題材名 豊かな表現（音楽の友社 『音楽 』）*教科書転載なし

3. 題材について

本題材では、朝鮮民謡「アリラン」、中国民謡「太湖船」という素朴でのびやかな曲調を持つアジアの民謡を取り上げる。これらの音楽は、西欧の音楽に比べて日本の音楽と共通点が多い一方で、拍子・リズムやペンタトニックの用法に微妙な差異があり、日本音楽との違いがある。各々の民族の音楽を多面的にとらえ、個々の特徴を理解することにより、多種多様な民族の音楽を受容できる開かれた音楽観を身に付けさせたい。

4. 題材の主たる目標

- ・音楽 で体験したリコーダーの学習を発展させ、奏法の向上を図るとともに、歌唱や鑑賞との関連によって、より豊かな表現を工夫させる。
- ・教材として用いる「アリラン」は朝鮮で古くから親しまれている楽曲である。背景となる文化を理解し、日本音楽と比較することを通して、生徒一人一人にメロディ、リズム、ハーモニー、アンサンブル等を工夫させる。

【普遍的視点】

異文化理解

- ・日本音楽との共通点や相違点について学ぶことにより、それぞれの文化を理解し尊重する態度を養う。

5. 評価規準

関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能
いろいろな楽器の特質や奏法、視奏、曲の構成及び曲想に関心を持ち、意欲的に器楽表現している。	音楽の諸要素を知覚し、それらが生み出す曲想や美しさを感じ取って、器楽表現を工夫している。	楽曲から感じ取ったイメージを、創造的に器楽表現するための技能を身に付けている。

6. 指導と評価の計画（全5時間）

次	学習内容（時数）	評 価				評価方法
		関心	感受	技能	評 価 規 準	
1	奏法確認のための楽曲演奏 （1時間）				平易な楽曲演奏を通して、呼吸法や運指など、リコーダーの基本的な奏法を確認できている。	演奏聴取 行動観察
2	表現を工夫した楽曲演奏 （3時間） 本時は2時間目				演奏における基本を一層深め、個性・表情豊かに表現している。 曲の構成及び曲想を理解し、曲にふさわしい表現を創造できている。	演奏聴取 行動観察
3	アンサンブル （1時間）				多様なアンサンブルの形態を工夫している。	演奏聴取 行動観察

7. 本時のねらい

（1）本時の目標

- ・吹奏楽器演奏及び歌唱に不可欠な、呼吸法及び息の保持を習得する。
- ・アルト・リコーダーの運指を確認する。
- ・リズムとフレーズを理解し、生き生きとした演奏を工夫する。
- ・朝鮮民謡を通して異文化に対する親しみをもち、それぞれの国の文化を大切に**する態度を身に付ける。【異文化理解】**

(2) 観点別評価規準

- ・吹奏楽器演奏及び歌唱に不可欠な、呼吸法及び息の保持を習得できたか。
- ・アルト・リコーダーの運指を体得したか。
- ・リズムとフレーズを理解し、個性豊かに生き生きとした演奏を工夫したか。

(3) 準備物 リコーダ, CD (京畿道^{キョングド}アリラン), 打楽器チャンゴ

(4) 学習の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	評価	評価方法
導 入	・楽器を組み立てる。 ・ロングトーン, タンギング練習などをする。			
展 開	「アリラン」を練習する。 ・読譜及び視奏を各自で行なう。 ・ピアノ伴奏による斉奏を行なう。 ・歌詞で歌い、息継ぎの位置を確認する。 ・1フレーズを一息で演奏する練習をする。	・視奏力を充実させる。 ・運指に気を付けさせる。 ・伴奏に合わせて正確に演奏させる。 ・歌詞を手掛りにして、フレーズを考えさせる。 ・呼吸に留意し、フレーズの表現を工夫させる。	・基本的な奏法が身に付いている。 ・歌詞の内容を理解し、音楽との結び付きを理解している。	演奏聴取 行動観察
展 開	・朝鮮民謡の特徴を知る。 ・CDによる参考演奏「京畿道(キョングド)アリラン」を聴く。 ・打楽器チャンゴを紹介し、チャンゴ伴奏による斉奏を行なう。 ・リズムを自由に揺らして演奏する。	・朝鮮と日本の音楽との共通点と相違点について考えさせる。 ・各国の文化が交流しながらも、それぞれ独自に培われてきたことに触れる。 ・朝鮮民謡の特徴を体感させ、感じたことを生かして表現させる。	・曲の構成及び曲想を把握し、理解を深める。 ・「アリラン」を個性豊かに表現している。	行動観察 表情や態度の観察
ま と め	・「アリラン」を斉唱し、リコーダーを演奏する。	・音楽の背景にある文化や人々の暮らしに思いを寄せ、心をこめて演奏させる。	・心をこめて表現豊かに演奏している。	表情や態度の観察

8. 評価

- ・安定した音色が出ているか。
- ・正確な運指が身に付いたか。
- ・フレーズを感じながら演奏し、楽曲にふさわしい表現を工夫したか。
- ・楽曲について、文化的意義等を考えながら、心をこめた表現豊かな演奏ができたか。
- ・人々がそれぞれの伝統文化を大切に育ててきたことに共感を寄せることができたか。【異文化理解】